

「河川技術・流域管理分野 提案型課題(流域課題)」
(令和4年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
多機能インフラによる流域治水対策の推進に向けた研究	愛媛大学 森脇 亮	A
<研究概要> 水田の治水利用や二線堤などが流域治水の対策メニューとして挙げられているが、このような既存インフラの多機能活用の取組みは、河川管理者が主体となって実施するものではなく、自治体や地域住民が主体となって取組む施策である。そこで本研究では、宇和盆地を主な実フィールドとして、国と西予市、地域住民と共同して、多機能インフラの実装に向けた具体的な研究を実施し、今後の流域治水政策の水平展開に繋げていくことを目的とした。		
<事後評価コメント> A評価のためコメントなし		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
B: 一定の研究成果があった。
C: 研究成果があったとはいえない。